取り組んでいただきたいと考えている。

また、多品目の生産については、農産物直売所の魅力を高めるためには、品揃えが重要であると考えているので、日吉夢産地では、今年度、農業技術の指導者を招聘し栽培講習を実施するよう計画されている。更には、農業公社においても、新規作物の導入に取り組んでいるところである。新しい作物へのチャレンジやハウス施設を活用した端境期での栽培など、農家の工夫に期待したいと考えている。

問アンテナショップの開設について。

答合併前に「森の三角ぼうし」が、松山市に開設していたが、経営が難しく撤退した経緯がある。その撤退の理由の一つは、農産物の出荷が少なく、売り上げが伸びなかったことにある。この経験から、アンテナショップの開設にあたっては、出荷農家の意向や生産能力、経営の見通し、地域の活性化への効果など、十分な調査研究を行い、開設に向けた検討を進めていきたいと考えている。

◎町民参加の協働の町づくりについて

問コミュニティ再生、構築について。

答組外の世帯を把握するとともに、組への加入を呼びかけていきたいと考えているが、就中、町民のお一人お一人がそれぞれの地域で加入を呼びかけていただくことが最も重要であり、一体感の醸成に繋がるのではないかと思慮するものである。それによって、できるだけ多くの皆さんが組へ加入していただき、地域をよくするためにご協力をいただくことを願うものである。

問男女共同参画社会形成の対策について。

答男女共同参画社会の形成を実現するため、鬼北町男女共同参画推進条例を制定し、同条例に基づき、鬼北町男女共同参画審議会を設置して、男女共同参画基本計画を策定したところである。この計画をもとに、男女共同参画推進の活動として、今年度、男女共同参画推進のためのリーフレットを作成し、全世帯に配布することにしている。男女共同参画社会の形成のためには、男女とも多様な生き方を調和させていく職場づくり、お互いを支えあう家庭づくり、自立した個人が協力し合う地域づくりが必要であり、より一層の啓発が重要であると考えている。また、お互いの多様性を尊重し、人権を尊重するという啓発活動が必要ではないかと考えている。

あらゆる機会を通して男女共同参画に関する意識啓発を合わせて行うよう、関係各課と計画調整を図っているところである。

男女共同参画は、全町挙げて取り組むべき課題であるとの認識に立ち、推進活動を実施していきたいと考えている。

問女性の社会参画について。

答女性の人材育成については、鬼北町女性団体連絡協議会をはじめとした各種女性団体により、意欲的に研修や学習が実施されている。町としては、これらの活動を引き続き助成することにより、女性の人材育成に努めていきたいと考えている。

また、国・県等が、女性の人材育成に関する研修や学習について、より専門的で高度な内容のものを定期的に開催しているので、それらの案内や紹介を行い、参加・活用いただくことにより、個々の自主性に基づく女性の人材育成を促進していきたいと考えている。

◎地域間交流施策について

問地域間交流施策の取り組みについて。

答基準の取り方によっても認知度に差異が出てくるものと思うが、物産部門においてもまだまだ知名度が低いということは、一つにはPR不足もあるのではないかと思うので、物を売るだけではなく、町の名前も売るという戦略が必要である。そのための手段として都市部等との地域間交流事業を推進することは重要な施策であると考えている。自然・文化・歴史・景観といった優れた地域資源を有する鬼北町において、その優れた地域の特性・魅力を活かして、人・文化・情報等の交流を図るためには、施設の整備と機能の充実に努める必要もある。

また、鬼北町の知名度を高めるためには、行政の各部門において特色ある独自性に満ちた事業を展開することが求められるし、町民の皆様にも宣伝マンとしての役割を担っていただき、色々な機会を通して、広く全国にPRしていただくことも重要であると考えている。

横山　二郎　議員

◎血族を含む事件の凶悪化に対する対応について

問各分野の実情に立脚した取り組みプランについて。

答本町においては、まず学校教育部門で、「教育は国の基本という理念の下、学校、家庭、地域社会が一体となって次代を担う人材を育てるための教育環境づくりを推進し、豊かな人間性や公共心、生きる力に満ちた子どもの育成を図る。」こととし、学力の向上はもとより、基本的な習慣を確立させるとともに、社会生活を営む上での規範意識の向上に努めている。

社会教育部門においては、「人づくりが町づくりの基盤」という認識の下、一人ひとりが様々な分野で個性と能力を発揮し、豊かな心で充実した生きがいのある人生を送ることができるよう、生涯にわたって教養の向上と人格の形成に努めることができるための環境の整備を図る。」こととし、公民館等の施設設備の充実や学習機会の拡充に努めているところである。

このような考え方の下、長期的視点に立って、地道に、忍耐強く、取り組んでいくことが肝要であると認識している。

◎三島グラウンドの管理運営について

問管理上の困難等について。

答三島グラウンドの草刈・清掃などの管理については、三島体育協会に年間委託管理をお願いしている。

なお、グラウンドの内野部分が荒廃しているので、町において21年度中に、真土の搬入を行い整備することとしている。

問防球ネットの今後の計画について。

答クロッケー場とグラウンドとの境